

備えあれば  
憂いなし

# 台風・集中豪雨

夏から秋にかけては台風や集中豪雨が発生しやすく、毎年各地で土砂災害や暴風雨による被害が出ています。昨年は、岩国市や広島市などで豪雨による土砂災害が発生し、未曾有の被害をもたらしました。

台風や集中豪雨の特徴を理解し、日ごろから気象情報に注意しましょう。また、ハザードマップなどで家の周りや地域の危険箇所を確認し、家族や地域で安全対策について話し合っておきましょう。

〈問い合わせ先〉総務課危機管理室（☎ 82-1122）

## こんな台風には要注意！

### ①台風の中心が市より

#### 西側を通過する台風

雨・風ともに非常に強くなります。



### ②接近が満潮と重なる台風

気圧が低下することで海面が高くなります。海岸や河口付近では特に注意が必要です。

## 台風に備えてのチェックポイント！

### ①家の周りを点検する

- ・雨戸や屋根を補強し、鉢植えなど飛ばされそうなものは屋内へ移動させるか固定する。
- ・ブロック塀や外壁のひび割れ、亀裂は補修する。
- ・側溝や排水溝は清掃する。

### ②非常時持出品を準備する

- ・すぐに行動できるように、非常時持出品や貴重品を準備する。



### ③停電に備える

- ・懐中電灯や携帯ラジオ、予備の電池を用意する。

### ④避難に備える

- ・避難場所への道順を確認する。

## 集中豪雨に備えましょう！

### ①集中豪雨とは？

短時間のうちに狭い範囲に集中して降る雨を集中豪雨と呼んでいます。

### ②どのようなときに発生するの？

- ・日本付近で前線が停滞しているとき
- ・台風が接近・上陸したとき
- ・大気が不安定で次々と雷雲が発生するとき



### ③集中豪雨の発生予想は？

- ・集中豪雨は突発的に発生するため、長期予想は非常に困難です。急速に積乱雲が発生したときは、最新の気象情報に十分注意しましょう。

### ④危険を感じたら早めに避難する

- ・被害が想定される場合には、早めに安全な場所へ避難することが大切です。
- ・夜間や豪雨で視界がはっきりしないときや、ひざ上まで浸水している場合は、避難場所への移動は危険です。命を守るため、建物倒壊の危険がない場合は、自宅や近隣建物の2階以上へ緊急避難し、救助を待つことも検討してください。



## 災害の緊急情報を入手する

### ◆防災メールを配信しています

気象情報・緊急情報等を配信します。  
山陽小野田市防災メール▶ [e-sanyo-onoda@xpressmail.jp](mailto:e-sanyo-onoda@xpressmail.jp)



### ◆防災ラジオを配布しています

市が発表する緊急情報（避難勧告の発令、避難場所の開設等）を受信したときに、自動的に電源が入り、最大音量で放送が流れる防災ラジオを配布しています。

【申込方法】総務課、仮設山陽総合事務所、南支所、埴生支所、公園通出張所、厚陽出張所に備え付けの申込書に記入し、負担金 2,000 円を添えて総務課に提出。申込書は市ホームページからもダウンロードできます。

※気象台から発表される注意報、警報などの気象情報や緊急地震速報等は放送されません。

まずは登録を！



## □次の場合は情報提供を！（連絡先：中国電力(株)宇部営業所 ☎ 0120-613-270）

- ・電線が切れたり、垂れ下がったりしている
- ・電柱や電線から火花が散っていたり、異常な音がしたりしている